

# プラズマ・核融合学会誌

第88巻第12号

2012年12月

解 説	IFMIF/EVEDA リチウムターゲットシステムの開発 …………… 若井栄一, 近藤浩夫, 杉本昌義, 深田 智, 八木重郎, 井田瑞穂, 金村卓治, 古川智弘, 平川 康, 渡辺一慶, 藤城興司, 鈴木晶大, 寺井隆幸, 枝尾祐希, 廣本鉄史, 重春論志, 新妻重人, 木村晴行, 堀池 寛, 帆足英二, 鈴木幸子, 山岡信夫, 芹澤 久, 川人洋介, 辻 義之, 古谷一幸, 武尾文雄	691
小 特 集	球状トカマク研究の進展 –核融合エネルギー開発に向けて– 1. はじめに …………… 前川 孝 706 2. 最近の研究成果と研究動向 2.1 高ベータ閉じ込めと長時間閉じ込めの達成と英米の次期計画 …………… 高瀬雄一 708 2.2 プラズマ-壁相互作用, ダイバータ研究 …………… 花田和明, 吉田直亮 714 2.3 センターソレノイドなし放電立ち上げ …………… 前川 孝, 永田正義 724 2.4 球状トカマク合体の応用 …………… 小野 靖, 井 通暁 733 2.5 球状トカマク改善閉じ込めプラズマにおける乱流揺動研究 …………… 永島芳彦 740 2.6 核融合炉に向けての球状トカマク研究 …………… 長山好夫 747 3. まとめと今後の研究の方向性 …………… 高瀬雄一 755	
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	……………	761
新刊図書紹介	……………	762
インフォメーション	……………	763
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(38) 幅広いアプローチ活動だより(40) 【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar	……………	773
Vol. 88 総目次	……………	774

## 表紙の絵

LHD の周辺領域で計測されたイオン飽和電流  $I_{\text{sat}}$  の揺動特性分布. それぞれ (a)  $I_{\text{sat}}$ , (b) Skewness (歪度) (ハイパスフィルタ無・有), (c)  $I_{\text{sat}}$ , Skewness, 標準偏差  $\sigma$ , (d) ウェーブレット係数絶対値の二乗を表す. 横軸  $z$  は赤道面からの高さを示し, (c) (d) はダイバータレッグ側面近傍を拡大したもの.  $I_{\text{sat}}$  勾配の大きな位置に Skewness の正負反転が見られる. (Hirohiko TANAKA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.7, 1402152 (2012) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.